

Ⅶ. 証券化エクスポージャー

1. リスク管理の方針及び手続の概要

リスク集中回避のため、投資する証券化エクスポージャーの外部格付に応じた保有限度額を設定しております。また、裏付資産の特徴やスキーム上の信用補完状況を分析し、中身の不明な商品には投資しない方針のもと取り組んでおり、新しい仕組の商品に投資する場合は、投資部署とリスク管理部署が十分な協議・検討を行い、リスクの所在を明確にしたうえで投資しております。投資後はリスク管理部署において、評価損益、VaR（バリュー・アット・リスク）、デュレーションの計測、及びストレス・テストを実施することによりリスク管理を行い、毎月開催されるALM・収益管理委員会へ報告しております。

なお、当行がオリジネーターとなっている証券化エクスポージャーはありません。

2. 信用リスク・アセットの額の算出に使用する方式

当行では、証券化エクスポージャーの信用リスク・アセット額の算出には標準的手法を採用しております。また、自己資本比率告示第19号附則第15条（証券化エクスポージャーに関する経過措置）は適用していません。

3. 証券化取引に関する会計方針

当行が投資家として保有する証券化商品については、満期保有目的債券に区分したものは償却原価法、その他有価証券に区分したものは時価法にて評価しております。

4. 証券化エクスポージャーのリスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関

リスク・ウェイトの判定においては、すべての証券化エクスポージャーに対して(株)格付投資情報センター、(株)日本格付研究所ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク及びスタンダード・アンド・プアーズ・レーティング・サービスの格付を使用しております。

5. 投資家として保有する証券化エクスポージャーに関する事項

(1) エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

(単位：百万円)

	連 結		単 体	
	平成19年度末	平成20年度末	平成19年度末	平成20年度末
住宅ローン債権	3,827	2,692	3,827	2,692
オートローン債権	1,233	183	1,233	183
その他個人向け債権	811	359	811	359
リース債権	3,518	843	3,518	843
事業者向け貸付債権	5,849	3,658	5,849	3,658
商業用不動産	3,519	2,021	3,519	2,021
その他	1,739	1,444	1,739	1,444
合 計	20,499	11,204	20,499	11,204

(2) リスク・ウェイト毎の残高及び所要自己資本

【連結】

(単位：百万円)

	平成19年度末		平成20年度末	
	残高	所要自己資本の額	残高	所要自己資本の額
20%	18,759	300	9,759	156
50%	1,739	69	1,444	57
100%	—	—	—	—
350%	—	—	—	—
自己資本控除	—	—	—	—
合計	20,499	369	11,204	213

【単体】

(単位：百万円)

	平成19年度末		平成20年度末	
	残高	所要自己資本の額	残高	所要自己資本の額
20%	18,759	300	9,759	156
50%	1,739	69	1,444	57
100%	—	—	—	—
350%	—	—	—	—
自己資本控除	—	—	—	—
合計	20,499	369	11,204	213

(3) 自己資本比率告示第247条の規定により自己資本から控除したエクスポージャーの額及び主な原資産の種類の内訳

該当事項はありません。

(4) 自己資本比率告示附則第15条の適用により算出される信用リスク・アセットの額

該当事項はありません。